

申請者	高知県					初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	857,768千円 (173,067千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・生産から流通・販売までの関係者が連携する「輸出拡大プロジェクト」を立ち上げる。 ・輸出先国のニーズを捉え「マーケットイン型の地産強化」を図る。 ・海外支援拠点や商社と連携した海外プロモーションを展開し、農水産物・食品、土佐酒の輸出拡大を図る。 ・輸出拡大による効果（原材料生産や新規雇用等）を地域経済へと波及させ、中山間地域の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 食品産業の「地産」を強化し、輸出を拡大することにより、第一次産業から第三次産業まで経済効果を波及させ、中山間地域の活性化につなげることを目指す。 国内外の食品見本市や商談会、細やかな事業者支援等を行うことで本県の農林水産物及び加工品の輸出を支援する。また、県産品の国外における販路拡大のため、商社等との連携を強化するとともに、国内外のキーパーソンとの関係構築を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○水産物輸出促進事業（補助金）19,006千円 ・水産物輸出促進協会が行う国内外の展示会出展等を支援 ○農産物輸出促進事業（委託料・補助金・事務費）9,800千円 ・東南アジアのバイヤー・シェフ等を招へいた商談会の実施 ・国内外の展示会、テスト輸出等の輸出促進に係る取組の支援 等 ○加工品（土佐酒含む）の海外への販路拡大事業（委託料・事務費）141,111千円 ・貿易促進コーディネーターによる県内企業の海外展開支援 ・現地に商流を持つ商社との連携強化 ・外部人材及び海外拠点を活用した輸出プロモーションの実施 等 ○輸出拡大を目的とした土佐酒テロワールの深化と展開（備品購入費）3,150千円 ・研究用消耗品等の購入費						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①高知県の食料品の輸出額（＋27億円） ②輸出戦略を作成した食品加工事業者数（＋32社） ③輸出に取り組む食品事業者数（＋73社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	高知県産業振興計画について https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/ 産業振興計画フォローアップ委員会 https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2019103000372/

事業概要：小規模集落活性化事業

旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	274,537千円 (2,375千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	人材育成、関係人口の拡大等により中山間地域が抱える課題解決の取り組みを支援することで、人口減少の負の連鎖を食い止め、若者の定着・増加と集落活動の後継者の確保といった好循環が生み出される。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市町村や地域が取り組む地域づくり人材の育成や関係人口の構築による集落の活性化を支援する。		 大学生と連携した地域内運動会の様子（安芸市）
	【R8年度事業 経費内訳】 【主な経費】 ・集落活動センター推進事業（ステップアップ事業） 補助事業費：2,375千円 実施主体：市町村、集落、地域団体等 補助制限：市町村事業費の1/2以内 1ヵ所あたり 通算2,000千円/2年 補助対象：人材育成、集落活動費 等		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①事業の取り組みにより構築された関係人口数（+10,990人） ②デジタル技術の活用による草刈り活動の負担軽減率 （+100%）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024070200076/ 小さな集落活性化事業のHPページ

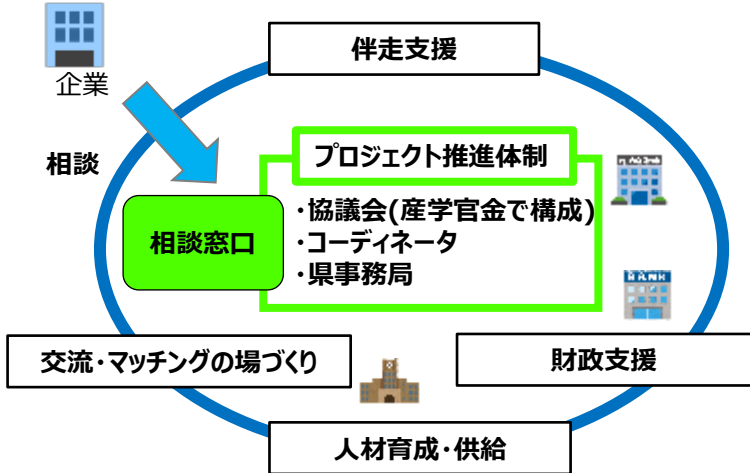
事業概要：高知県生産性向上・デジタル化支援事業

旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	787,393千円 (135,322千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県の実現を目指す 生産性の高いものづくりと働きやすく活気のある商工業の実現を目指す 本県製造業の労働生産性の向上を図る 県内企業の収益面の改善を行い経営基盤を強化することで、良質な雇用環境の創出を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○デジタル化支援による生産性向上 ○財務分析支援による生産性向上 ○オンラインとリアルを活用したハイブリット型の外商支援事業		
	【R8年度事業 経費内訳】 【主な経費】 ・（公財）高知県産業振興センターによる事業戦略の策定及び実行（デジタル化、生産性向上等）の伴走支援（補助金） 37,616千円 ・（公財）高知県産業振興センターによる県外見本市や商談会による外商活動支援（補助金・委託料） 97,706千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①(公財)高知県産業振興センターの外商支援による成約額（+70億円） ②デジタル化伴走支援の企業数（+210社） ③新型コロナウイルスの影響を受けた企業のうち営業損失計上企業の割合（▲19.9%）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/ (効果検証) https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2019103000372/

事業概要：高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクト

旧制度（推進）

申請者	高知県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	119,078千円 (21,054千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・高知県にヘルスケア産業を創出し、地域産業の活性化を図る ・県外企業の誘致を促し雇用を生み出すことで、若者の県内定着や県外からの転入促進を図る ・県内企業のヘルスケア分野への参入を促し、企業の成長力の底上げを図る ・デジタル技術を活用して、地域や職域が抱える課題の解決を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル技術等を活用したヘルスケア分野の新製品やサービスの事業化や関連企業の育成と誘致を進めることで、県内にヘルスケア産業を創出し、新たな雇用の創出や外商の拡大につなげるとともに地域課題を解決する。 【R8年度事業 経費内訳】 ○高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトの推進体制の運営 ・協議会・相談窓口の運営資金等（事務費1,054千円） ○プロジェクト支援案件に対する伴走支援 ・事業化までのサポート（委託料5,000千円） ○高知県ヘルスケア産業実証実験支援事業費補助金 ・実証実験に係る経費の一部を補助（補助金15,000千円） 		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①企業からの相談窓口への相談件数（+75件） ②本プロジェクトに参画した県内企業及び市町村数（+50件） ③高知県内への本プロジェクト支援県外企業の支社等拠点設立件数（+40件） ④本プロジェクト支援県外企業における県内雇用人数（+27人）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方針への反映が記載されているURL	（実施体制） https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025092600202/ （交付金の具体的使途） https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2023062300190/ https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025042800164/	

申請者	高知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	600,000千円 (200,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	高知ならではの魅力をじっくりと、深く、たっぷりと味わっていただく、長期滞在型の観光への転換を図る 中山間地域の観光素材も意識しながら観光商品を磨き上げ、地域における持続可能な観光振興を図る アンテナショップを拠点に観光や食の魅力を全国に向けて発信し、観光誘客及び外商拡大を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・インバウンドの誘客も視野に、「極上の田舎、高知。」をコンセプトに、本県が磨き上げてきた自然、食、歴史・文化を集大成として発信する高知ならではの観光キャンペーンを展開 (全国メディア等を活用した広報、特設HPやSNSを活用した情報発信、アンテナショップ等と連携したPR、交通広告等による交通拠点等での広報PR) ・「スーパー・ローカル・ショップ ～極上の田舎～」をコンセプトにしたアンテナショップを拠点に、本県の食や観光などの魅力を発信 ・「極上の田舎（スーパー・ローカル）」をコンセプトとしたプロモーション活動を展開し、消費者への露出機会を拡大 【R8年度事業 経費内訳】 ・広報事業（補助金）98,512千円 ・地産外商公社運営事業:28,532千円 ・関西プロモーション推進事業：72,956千円 どっぶり高知旅 キャンペーン 《開催期間》 令和6年4月1日～ 令和10年3月31日 食 自然 歴史・文化 極上の田舎、高知。 先導的観光の推進「地産外商」は、おいしい食や観光を売った、ワンストップで地元「7年間で1倍増」の観光。山・川・海・自然に恵まれた高知の魅力を、本県産の恵みで支え、発信していただく旅を推進。 地産外商の推進に資するため高知の観光は、観光客の多くが訪れる高知を推進する。中でも高知の地産外商や食を推進し、発信していただく旅を推進。		
	KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域における観光消費額（+331億円） ②県外観光客入泊数（+129万人泊） ③アンテナショップの売上額（+1.52億円） URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善策への反映が記載されているURL https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025072400075/ https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2021033000322/ https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/120901/2023042500046.html		

申請者	高知県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	154,434千円 (54,092千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・再造林の実施など環境に配慮した森林由来の木材という新たな価値を加えた高知県独自の木材認証制度を創設し、持続性等の確保された木材供給とそれを求めるマーケットをつなぐ仕組みの構築を図る ・県産認証木材の供給により、他産地との差別化を図り、山元への利益還元を目指す ・大径材を含む木材の利用を促進し、計画的な伐採・再造林を確実に行うことで、持続可能な木材産地の形成		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 補助事業で得られる情報や仕組みを活かして認証制度を構築し、認証体制の確立に向けた準備を進める。併せて、認証制度の試験運用に向け、認証木材の流通管理等を行う情報システムを開発		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・土佐材認証制度構築・システム構築経費（委託料）34,600千円 システムへの追加機能の実装や、機能強化を実施 ・PRに要する経費等（補助金）19,492千円 県外で高知県産材を利用する工務店等に対して、認証木材等のPRに要する経費の補助や、県外において認証木材等の流通拠点となる事業者に対して、荷さばき等に要する経費を補助		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産出荷額（木材・木製品製造品出荷額） （+64.50億円） ②JAS製材品格付量（+11,000m³） ③システムの利用登録をした事業体数（+100社）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されて いるURL	https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	755,585千円 (246,997千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	あったかい高知の「人」の魅力を発信する特別番組の作成やUIターンに関する情報発信、相談窓口の体制強化、若者や女性に向けたSNSでの情報発信を行い、関係人口を拡大する。 中山間地域の集落の活力向上や産業の活性化に向け、空き家・空き店舗を活用した出店などの取り組み支援、関係人口の増加を目的として地域団体が実施するプログラムへのプロモーション支援に取り組む。 地域生活での暮らしの不便解消に向けた取り組み等により人口減少対策を行う。 人口減少に適応した、持続可能な社会の実現（持続可能な社会の実現に向けた賢い縮小）を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・空き家の増加、雇用の減少、公共サービス・介護サービス等の低下、遊休農地の増加など具体的な地域の課題に対応するため、各地域に根ざした中山間地域対策により県内全域の活性化につなげることを目的に、移住・定住対策や地域で暮らし続けられる環境整備等を実施する。					   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ①移住・定住対策 ・デジタルマーケティングを活用した県外に向けたUIターンに関する情報発信（委託料）59,132千円 ②中山間地域の持続的な発展 ・市町村が地域の実情に合わせて実施する人口減少対策の取り組みを支援（交付金）20,328千円 ③4Sプロジェクト（持続可能な社会の実現に向けた賢い縮小）の推進 ・遊休農地の解消や中古ハウスの確保に必要な経費を支援（補助金）5,100千円						
主なKPI	①県外からの移住者数（年間）（+500人） ②県出身・県外大学生のUターン就職率（+2.2%） ③若年就業者数(15～34歳）（+710人） ④人口の社会増減（+43人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://kochi-iju.jp/ https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sousei/

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,714,995千円 (578,792千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本県の強みを生かした林業や食品産業などを強化するとともに、地産外商を進めることにより、地理的ハンデが影響しない新たな産業の創出を進める。 ・若年層の増加を目指すため、都市部の若者を呼び込む施策を実施するほか、県内企業の採用力向上や若者が県内企業を知る機会を創出していく。 ・若者の定着・増加に向けて、起業の促進やデジタル化による生産性向上による県内賃上げ環境の推進、第一次産業や建設業における女性進出の後押し、多様な人材が働きやすい職場環境づくりを行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・大企業が少なく、中小企業や小規模事業者が多い構造で、雇用の受け皿が相対的に少ない。 ・雇用の受け皿の拡大に向けて、企業誘致だけでなく、起業の促進やデジタル化による生産性向上による県内賃上げ環境の推進、第一次産業や建設業における女性進出の後押し、多様な人材が働きやすい職場環境づくり、地域の資源や特性を生かした産業振興等、幅広い施策を推進する。					  	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・産業の創造 209,754千円 ・環境整備 45,177千円 ・産業のデジタル化 122,942千円 ・県内就職の促進 56,556千円 ・産業人材の育成 123,888千円 ・産地市場スマート化に関する事業 3,508千円 ・赤潮対策に関する漁協業務軽減に関する事業 16,967円						
主なKPI	①県内におけるアニメ制作企業従事者数 (+77人) ②県のサポートによる起業・新事業展開件数 (+150件) ③県出身・県外大学生のUターン就職率 (+2.7%) ④県内大学生の県内就職率(+10%) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025060200137/

事業概要：地域内経済循環の推進に向けた「地消地産」の強化

継続

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	334,059千円 (115,051千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	エネルギーや食料品の分野において、県内での消費（地消）の拡大を通じた生産（地産）の強化を図り、県際収支の改善と県民所得の向上、農林就業者の確保を図る。 土佐和牛の認知度向上および県内需要の拡大を図ることで、地産の強化を目指し、供給力の強化を図る。 竹資源の利用拡大に向けた生産の強化を図り、中山間地域の収益向上を図る。 木質バイオマスの利用拡大により、県外産の石油・石炭等の電力から県産材由来の電力への転換を促すことで地産の強化、温室効果ガスの排出量の削減を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・本県は平野部が狭いなどの地形的条件や、中小・零細事業者が多いといった産業構造上の理由から、原材料や最終製品の多くを県外からの調達し、所得が県外に流出している。 ・一部の高知県産品については、県内外での認知度不足や資源としての有用性が認知されておらず、県内での利用率が低く、安価で取引されている。 ・これらの課題に対し、県産品やエネルギーなどの地域内で消費「地消」を拡大し、需要拡大から「地産」の増大につなげることで、地域経済の好循環を生み出していく取り組みを推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・県産和牛肉（土佐黒牛）地消地産拡大事業委託料 19,608千円 ・竹資源利用促進事業費補助金 23,300千円 ・木質バイオマス原料となる林地残材の搬出に対する支援（補助金）27,468千円						
主なKPI	①新規就農者数（+80人） ②新規林業就業者数（+9人） ③高知県における温室効果ガスの総排出量（▲1,140千t-CO2）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/

事業概要：結婚や子どもを生み、育てたいという希望をかなえるための「いきいきと生活ができる高知」の実現

継続

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	382,352千円 (105,439千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・持続可能な人口構造へ転換することを目指し、若年人口に焦点を当てた本県の人口減少対策のマスタープラン「高知県元気な未来創造戦略」に基づき、デジタル技術を活用した生産性の向上やこれまで男性中心の職場であった業種への女性の進出支援、出会いの場の創出や結婚サポートを充実による婚姻数の増加の取り組みなどに取り組んでいく。これらの取り組みに加え、地域に根強く残る固定的な性別役割分担意識の解消を図り、「共働き・共育て」をオール高知で進めていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・本県の出生者数は日本の中で最下位グループに位置しており、出生者増に向けて、結婚に向けた支援、地域には固定的な性別役割分担意識の改善、男性の育児休暇取得促進が課題となっている。 ・働きやすい職場環境づくりの推進、女性・若者を中心とした雇用促進、出会い・結婚・出産に係る支援制度の充実に関する取組を進めていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・緊急的に短期的な労働力確保や休日取得対応が可能な「農作業ヘルパー制度」の取組の実施（補助金） 5,200千円 ・新規就農者の増加に向けて就農のハードルを下げるため、トライアル雇用制度を導入（補助金） 1,500千円 ・女性の水産職場モデルの構築（委託料） 12,650千円 ・漁業就業者拡大の取り組み支援（補助金） 13,032千円 ・出会いイベント等を実施する団体に対して支援を実施（補助金） 9,900千円 ・若者の自然な出会いの場につながるイベント等をまとめた専用サイトを構築し、若者の交流を図る（委託料） 17,918千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①婚姻件数（+311組） ②出生数（+479人） ③県内企業における男性の育児休業取得率（+48.2%） ④ワークライフバランス推進延べ認証企業数（+418社） ⑤女性の管理職割合（+13%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.koishiyo.pref.kochi.lg.jp/matching/ https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sousei/

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集																												
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	80,905千円 (14,721千円)																												
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業																														
目的・効果	・「第2期高知県外国人材受入・活躍推進プラン」に基づき、賃金水準が都市部に比べて相対的に低い本県が「外国人材から選ばれる高知県」となるために、受入促進として東南アジアを中心とした国々とMOUを締結するなど送り出し国との連携を強化していくとともに、定着促進として住宅の確保や日本語教育の充実、外国人の生活相談対応などを通じて、外国人材が「暮らしやすい・働きやすい・学びやすい」環境づくりを進めていく。																																		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・本県では、少子化や人口減少によって県内で働き手を確保することが困難となり、あらゆる産業分野で人手不足が深刻化している。移住促進による転入者の増加だけで充足することは難しく、県経済を持続的に発展させていくためには、積極的な外国人材の受入れを進めていく必要がある。 ・しかしながら、受入企業の外国人材への理解不足や外国人材の日本文化への理解不足、地域の多文化共生への理解不足が課題となっており、外国人材が「暮らしやすい・働きやすい・学びやすい」環境づくりを目的とした取組の促進を図る。					 <table><tr><th>年度</th><th>技能実習</th><th>特定技能</th><th>合計</th></tr><tr><td>R1</td><td>1,973人</td><td>0人</td><td>3,141人</td></tr><tr><td>R2</td><td>2,236人</td><td>0人</td><td>3,473人</td></tr><tr><td>R3</td><td>2,169人</td><td>0人</td><td>3,391人</td></tr><tr><td>R4</td><td>2,446人</td><td>0人</td><td>3,783人</td></tr><tr><td>R5</td><td>3,059人</td><td>0人</td><td>4,510人</td></tr><tr><td>R6</td><td>3,762人</td><td>0人</td><td>5,293人</td></tr></table>		年度	技能実習	特定技能	合計	R1	1,973人	0人	3,141人	R2	2,236人	0人	3,473人	R3	2,169人	0人	3,391人	R4	2,446人	0人	3,783人	R5	3,059人	0人	4,510人	R6	3,762人	0人	5,293人
	年度	技能実習	特定技能	合計																															
R1	1,973人	0人	3,141人																																
R2	2,236人	0人	3,473人																																
R3	2,169人	0人	3,391人																																
R4	2,446人	0人	3,783人																																
R5	3,059人	0人	4,510人																																
R6	3,762人	0人	5,293人																																
	【R8年度事業 経費内訳】 ・県内企業や県内就職を希望する外国人を対象として相談窓口を開設（補助金）3,957千円 ・国内留学生を対象とした企業見学ツアーや個別マッチング支援としての合同企業説明会（委託料）5,389千円 ・外国人向けの交流イベントの開催やアドバイザーの設置等を行い、地域の交流拠点づくりを支援（補助金）5,375千円																																		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内で就労する「技能実習」及び「特定技能」の外国人労働者数（+705人） ②外国人材に対する高度外国人材（在留資格「技術・人文知識・国際業務」）の割合（+60人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://kochi-foreigntalent.pref.kochi.lg.jp/																												

事業概要：魅力ある教育の推進による人材育成・地域活力の向上

継続

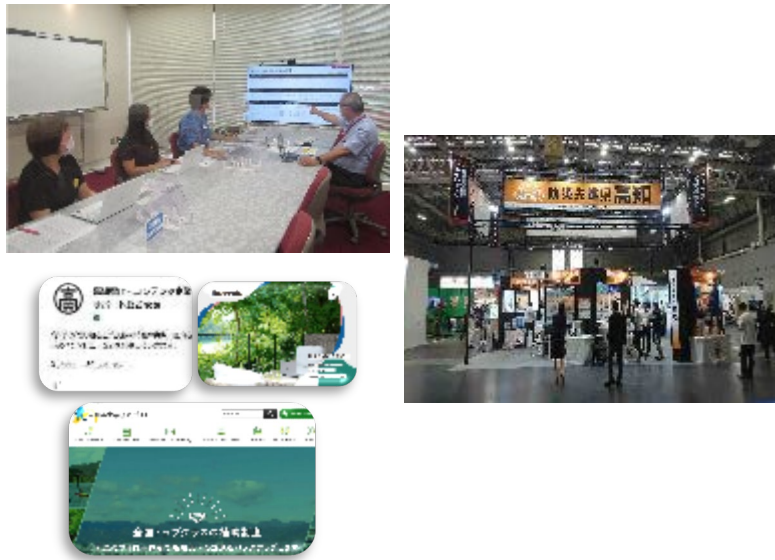
申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	152,568千円 (50,414千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「第3期教育等の振興に関する施策の大綱」・「第4期高知県教育振興基本計画」に基づき、以下の取り組みを実施する。 ・生まれ育った地域や高知県の魅力を若い段階から知ってもらい、将来のUIターンを含む若者の県内定着につなげるため、地域への理解と愛着を育むためのキャリア教育を実施する。 ・中山間地域の県立高等学校への入学者増につなげるため、市町村等と連携して魅力化・特色化を図る取組を実施するとともに、全国からの生徒募集の取り組みを強化する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・本県では、少子化・人口減少が要因となり、児童数や教員数が減少している中で多様な学びが展開できず、充実した教育活動が困難になる場合がある。 ・生まれ育った地域や高知県の魅力を若い段階から知ってもらうことで、将来のUIターンを含む若者の県内定着につなげるため、地域への理解と愛着を育むためのキャリア教育を実施する。 ・中山間地域の県立高等学校への入学者増につなげるため、市町村等と連携して魅力化・特色化を図る取組を実施するとともに、全国からの生徒募集の取り組みを強化する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・学校ぐるみで地域の伝統行事や産業の継承等に取り組む活動を支援・推進するためのキャリア教育推進事業費補助金 11,130千円 ・県内企業や産業の現場を体験し高知の仕事について学ぶ機会の充実（委託料） 6,200千円 ・地域みらい留学参加負担金 12,375千円 ・高等学校活性化推進事業費補助金 9,750千円						
主なKPI	①県内高校生の県内就職率（+5.3%） ②地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒（肯定的回答）の割合を増加させる（+6%） ③地域みらい留学等を活用し、県外から県立高等学校へ入学した生徒数（+51人）					URL	https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/kyaria/ https://kochi-ryugaku.kochinet.ed.jp/

事業概要：高知の文化・自然を取り込んだ「どっぶり高知旅」キャンペーンの推進

継続

申請者	高知県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	5,419,273千円 (3,470,177千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地域の暮らしや文化などを観光商品に育て上げるとともに、気軽に長期滞在が可能な宿泊施設等その他の受入態勢を整備し、中山間地域に新たな人の流れと経済効果を生み出すことで、地域での定住や若者の流出防止などにつなげ、持続可能な人口構造への転換を図る。 ・あわせて、本県のインバウンド観光の要として、国際線受入に向けた高知龍馬空港新ターミナルビルを整備し、訪日外国人の県内消費額の増加を図り、本県経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・大都市圏から遠く県内の交通手段も限られる等の地理的ハンデから、県外観光客は市内中心部の定番名所のみを回る短期滞在が多い傾向にある。 ・連続テレビ小説「らんまん（R5）」、「あんぱん（R7）」の追い風を活かしながら、滞在期間延長を促す取組や市町村事業を後押しする取組等の実施、新たな国際ターミナルビルの整備により受入機能が高まることによるインバウンドのさらなる拡大に向けた取組を実施。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・コーディネーターの伴走支援による観光素材の磨き上げ、観光商品化支援（委託料）30,300千円 ・よさこい高知文化祭2026を契機とした文化資源活用の推進（補助金）32,000千円 【拠点整備事業】 ・新ターミナルビルの整備工事 2,626,616千円 【インフラ整備事業】 ・道路整備事業 97,340千円 中山間地域への導線となる道路環境の改善により入込促進、地域内及び地域間周遊の促進を図る						
主なKPI	①県外観光客人泊数（+41.9万人泊） ②観光総消費額（+237億円） ③1旅行当たりの県内平均立寄数(年間)（高知市除く)(+0.6万人) ④外国人旅行客の県内消費額（+31.33億円） ⑤外国人旅行客の県内延べ宿泊者数（+8.1万人泊） ⑥高知龍馬空港の国際線利用者数（+12.6万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sa_nshin/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	高知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	349,798千円 (119,266千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタル化による生産性向上や海外展開等の外商の強化により、県内企業の「稼ぐ力」を高め、賃上げ環境の整備や多様な人材が活躍できる環境づくりを推進することで、誰もがやりがいを持っていきいきと働ける魅力的な仕事の創出を目指す。 ・本県の強みや課題を踏まえた企業誘致を推進することで若者の雇用の受け皿を創出し、県全体として持続可能な産業基盤の強化と地域経済の活性化を図る。 ・これらの取組により、人口減少下でも持続的に成長していく商工業の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 高知県産業振興センターや商工会連合会にデジタル支援の専門家・支援員を配置し、県内事業者への伴走支援、経営指導員のスキルアップ支援等を行う。また、防災関連製品など県内ものづくり企業の製品・技術のASEAN地域等への海外展開を促進するため、戦略策定や販路拡大を支援する。加えて、企業誘致に関する情報発信を一元化し、AI技術等を活用した効率的なアプローチで確度の高い誘致活動を実施し、持続可能な産業基盤と地域経済の活性化に取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・中小企業等のデジタル化促進（補助金）49,194千円 ・小規模事業者等へのデジタル化支援（補助金）9,034千円 ・「メイド・イン・高知」の防災関連製品・技術をはじめとする県内ものづくり企業の海外展開支援（補助金）47,038千円 ・企業誘致戦略推進（委託料）14,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品出荷額等（＋420億円） ②産業振興センターが支援するデジタル化計画の策定数（R3年度からの累計）（＋76件） ③商工会・商工会議所に対するデジタル化相談件数（＋2,720件） ④産業振興センターが支援する企業の海外売上高（＋5億円） ⑤防災関連製品の海外売上高（＋1.5億円） ⑥誘致有望企業獲得数（＋150社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/ （効果検証） https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2019103000372/

事業概要：林業担い手確保・育成経営体支援による地域の人材力強化事業

新規

申請者	高知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	872,211千円 (225,541千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・林業の担い手確保強化事業とあわせた森林整備事業への支援等により、地域雇用の創出及び新規就労者の確保・定着、地産地消を推進し、本県の豊富な森林資源を活用した強い地域経済の構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・林業の担い手確保のための相談窓口を設置し、就業希望者への対応や情報発信、継続的なフォローアップの体制の構築するとともに、県内外のイベント等を通じて就業にかかる情報発信を実施。 ・新規就業者の雇用やOJT等に取り組む事業者へ支援を実施。 ・現人員での効率的な原木生産のための高性能林業機械の導入支援、人手を要する林業作業道の計画策定にかかるソフト開発への支援を実施。 ・雇用の場やOJTを実施するフィールドとして、搬出間伐及び作業道への支援を実施。					高知で林業  林業就業希望者への情報発信 効率的な原木生産のための高性能林業機械の導入支援 ※導入機械のイメージ 	
	【R8年度事業 経費内訳】 【ソフト事業】 ・担い手確保のための相談窓口の設置等（委託料）9,657千円 ・林業労働力確保にかかる支援（補助金）30,858千円 ・新規就労者の雇用やOJTに取り組む事業者への支援（補助金）6,783千円 【インフラ整備事業】 ・雇用やOJTの場となる森林整備事業への支援（補助金）178,243千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①県内林業就業者数（+66人） ②新規就業者数（+99人） ③集約化した森林における原木生産量（+9.6万m ³ ）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/ （効果検証） https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2019103000372/

事業概要：こうちの地鶏生産基盤強化事業

新規

申請者	高知県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	506,485千円 (14,850千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	デジタル技術を搭載した鶏舎整備により、良質な種卵や健全な鶏の生産を維持し、供給体制を強化することで、土佐ジロー生産者の規模拡大や、土佐はちきん地鶏の増体性向上を目指す。 出荷額増や鶏卵・鶏肉の安定供給による販路開拓・拡大を行うことにより、稼ぐ力を高め『強い経済』へと転換することで、中山間地域の経済維持や、若者をはじめとする多様な人材の定着によるさらなる地域活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・養鶏エリア外への鶏舎建設は防疫上リスクが高いため、既存鶏舎を解体し、厳密な温湿度管理や衛生管理が可能な構造の鶏舎を整備 ・鶏舎内環境（温度・湿度・アンモニア濃度等）を遠隔モニタリングしたり、雛の状態を遠隔監視する監視カメラシステムなどICT（情報通信技術）を導入 ・鶏舎内環境を良好に維持し、臭気対策や良質な鶏糞堆肥生産など周辺環境にも配慮した密閉縦型堆肥化装置を養鶏エリア内に整備						
	【R8年度事業 経費内訳】 【主な経費】 ・高知県畜産試験場肥育検定鶏舎実施設計費 14,850千円 (デジタル技術を搭載した鶏舎改築に向けた設計業務委託費)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①土佐はちきん地鶏・土佐ジロー卵出荷額（+24,815千円） ②土佐はちきん地鶏出荷体重（+0.05kg） ③土佐ジロー飼養羽数（+1,500羽） ④土佐ジロー種卵ふ化率（+2.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/sanshin/ (効果検証) https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2019103000372/

申請者	高知県室戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	397,268千円 (375,059千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	廃校を活用し、新たなビジネスを応援する交流と共創の拠点となるシェアオフィスを整備 市内外から地域資源を活用する企業を誘致するとともに、新たに起業をするための支援を強化 若者に魅力ある雇用の場の創出につなげ、交流人口・関係人口の増加により、地域経済の活性化を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 室戸市内に廃校を活用し、新たなビジネスを応援する交流と共創の拠点となるシェアオフィスを整備することで、市内外から地域資源を活用する企業を誘致するとともに、新たに起業をするための支援を強化し、若者に魅力ある雇用の場の創出につなげ、交流人口・関係人口の増加により、地域経済の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 【ソフト事業】 ○シェアオフィス推進事業 6,259千円 【拠点整備事業】 ○シェアオフィスを整備 工事監理委託 8,800千円 改修工事 308,940千円、用地造成 41,060千円 備品購入 10,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+660人） ②施設利用者数（+5,700人） ③施設利用企業数（+10社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.muroto.kochi.jp/pages/page3607.php

事業概要：室戸岬観光拠点施設整備事業

継続

申請者	高知県室戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	260,667千円 (63,011千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・展示、飲食、観光及び情報発信などの多機能を備えた観光拠点施設の整備により、「住んでみたいまち」や「応援したくなるまち」に向かって、観光地域づくり、移住定住、観光客から交流人口、交流人口から関係人口、関係人口から定住人口につなげる。 ・また、滞在期間の長期化や周遊性の向上が図られ、市内の飲食店や宿泊施設への誘客を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 室戸岬の先端において、新たに観光拠点施設を整備することで滞在期間の長期化や室戸岬への周遊を図り、拠点施設から市内の飲食店や宿泊施設への誘客を促進する。また、悪天候でも屋内の展示室でガイドの事前説明等を行うことで施設の利用価値を高めていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 工事監理委託 7,381千円 建築工事費 26,416千円 電気・機械・昇降機設備工事 15,872千円 外構工事 1,085千円 備品整備 12,257千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①室戸市観光入込客数（+37万人） ②観光総消費額（+3億9200万円） ③移住者数（+660人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.muroto.kochi.jp/pages/page3607.php

事業概要：旧安芸市役所庁舎跡地活用による新たなにぎわい創出事業

継続

申請者	高知県安芸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	187,660千円 (151,560千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市の持続可能なまちづくりにおいて、まちのシンボルとなる新たな魅力づくりが重要課題となっている。旧市庁舎跡地周辺は、行政機能や商業機能、良好な交通アクセスなど様々な要素が集中しており、活用方法によっては、これまでにない人流を生む要素を有しているエリアであることから、新たな交流やにぎわいを創出するような拠点となるよう、配置する機能や規模の条件の整理・検討に取り組む。 民間ノウハウを活用し、官民協働で取り組むことによって、中心商店街とも連動させたまち全体へ波及するような新たなにぎわいの創出による地域活性化を図ることを目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、旧市庁舎跡地活用を核とした中心市街地の活性化を進めるため、官民連携によるまちの基盤づくりと、中心商店街のにぎわい創出、観光施策を一体的に推進する取組である。具体的には、まちづくりの指針となる都市再生整備等の計画を策定するほか、PFI方式導入に向けたアドバイザー業務に加え、空き店舗活用やイベント支援、観光情報センターの機能強化と周遊施策を展開することで、人の流れと滞在を生み出し、交流人口・関係人口の創出を通じて、将来的な居住・定住につながる持続可能なまちづくりを目指す。						

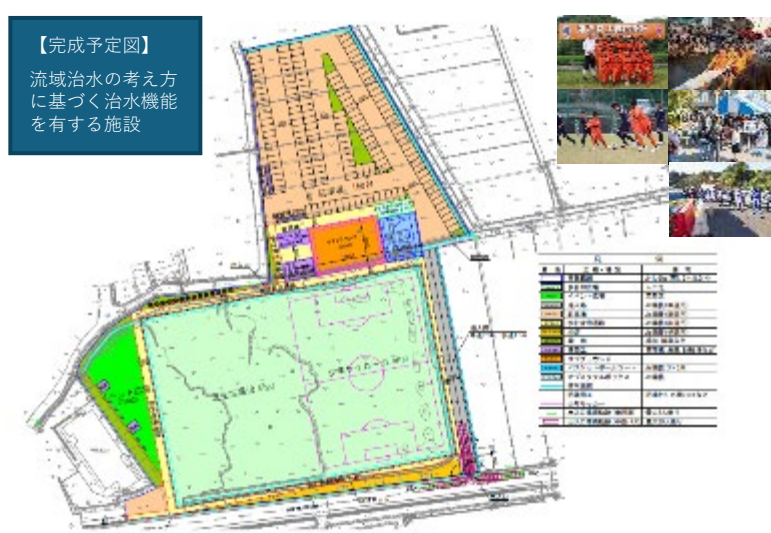
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：屋外多目的広場整備による賑わい創出

～誰もがいつでも気軽に健康増進、スポーツ、レクリエーションに親しむ持続可能なまちに～

継続

申請者	高知県土佐市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,659,391千円 (40,249千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	親子でのあそびや、運動を通じたふれあい、少年サッカーをはじめとする市民スポーツ、高知リハビリテーション専門職大学の授業や部活動、市民講座など、誰もがいつでも気軽に多目的に使用できる広場を整備し、スポーツ振興、健康増進に寄与する拠点施設とする。スポーツ、健康、多世代参加型イベントを開催し、市民意識の変容、交流人口拡大につなげる。市民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることができる土佐市（高知型地域共生社会）の醸成に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 約1.2haの空き地を人工芝による多目的広場（流域治水の考え方に基づく治水機能を有する施設）の他、イベント広場として整備する。また、北側に用地を拡張（約0.5ha）し、サブグラウンド、3on3コート、管理棟、駐車場等を整備することで、誰もがいつでも気軽に健康増進、スポーツ、レクリエーションに親しむことができる環境づくりを行う。また、整備後はスポーツ、健康に関するイベントを実施し、市民意識の変容、交流人口拡大につなげる。 ・DX技術による人流調査費 ・施設予約システム導入費 ・スポーツ、レクリエーションの魅力発信 ・施設整備費 ・備品購入費（人口芝メンテナンス機・オブスタクルボックス等）					【完成予定図】 流域治水の考え方 に基づく治水機能 を有する施設 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 ・土木工事実施設計業務 25,000千円 ・土木工事積算技術委託業務 1,749千円 ・建築工事実施設計業務 13,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①転入者数（+59人） ②土佐市の交流人口数（+20,716人） ③多目的広場への年間来場者数（+22,641人） ④多目的広場開催イベントへの参加者数（+5,120人） ⑤スポーツに関する意識変化率（+9%） ⑥健康に関する意識変化率（+9%）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tosa.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=2690

事業概要：多文化薫るまちづくり事業

新規

申請者	高知県土佐市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	13,353千円 (4,131千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・多文化共生の周知と理解を市内に広げ、外国人市民との共生を進めることで、本市の労働力不足・人口減少の課題解決、地域経済の持続的発展、新たな雇用・定住を促し、市の活性化と安定的な市民生活につなげる。 ・外国人市民の生活面をサポートしていくことで、日本人市民・外国人市民の隔たりなく誰もが住みやすい環境を整え、外国人市民に選ばれ、住み続けられる土佐市を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多文化共生に関する情報交換や課題などを気軽に話せる場所を準備し、その解決や対策などについて検討・具現化する協議会を運営するとともに、その内容を公表する機会を通じて市全体に情報発信する等、多文化共生の周知と理解に取り組んでいく。また、外国人市民が土佐市で生活していくうえで生じる困りごとや悩み、トラブルなどについて、対応してもらえる場所を運営することで、外国人市民にとって働きやすく住みやすいまちを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・たぶまちカフェ、たぶまち協議会の開催（委託料） 1,557千円 ・シンポジウム開催（取組や成果の公表）（委託料） 782千円 ・外国人市民向け相談事業の実施（委託料） 1,792千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①外国人市民の増加（+160人） ②たぶまちカフェ、たぶまち協議会への参加者数（+70人） ③拠点での相談受付件数（+48件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

事業概要：道の駅すくもサニーサイドパーク交流・にぎわい創出事業

新規

申請者	高知県宿毛市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	169,021千円 (165,021千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・物産館を新設し、生産者と消費者をつなぐ中核的な物販拠点を形成することで、地域内の生産・販売・消費の循環を構築し、地域経済機能の強化を図る。 ・観光情報発信、軽飲食、テラス、遊具等を一体整備し、滞在時間延長と購買機会の創出を通じて、観光消費額の増加と市内周遊の拡大を図る。 ・商品開発や販路開拓を支援し、物産館を核とした販売力と特産品の付加価値向上を図ることで、本市の経由地から目的地への転換と地域経済の持続的拡大を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 道の駅すくもサニーサイドパーク内に物産館を新設し、生産者と消費者を直接つなぐ市内の中核的な物販拠点を形成することで、地域内で生産・販売・消費が循環する仕組みを構築し、地域経済機能の強化を図る。あわせて、観光情報発信機能や軽飲食・休憩機能、テラス等を整備し、来訪者の滞在時間延長と購買機会の創出を通じて、観光消費額の増加と市内周遊の拡大を図る。さらに、地域産品の磨き上げと販売環境の整備を進め、物産館を核とした販売力と特産品の付加価値向上を図ることで、本市を経由地から立ち寄り・滞在型の拠点へ転換し、地域経済への波及を生み出す基盤整備を行う。					3つのエリアで「すくも」に触れる、味わう、そして遊ぶ。 「駅南に物産館、駅東に軽飲食、駅西に遊ぶ」という3つのエリアで、道の駅すくもサニーサイドパークの魅力を最大限に引き出す。また、駅南に物産館、駅東に軽飲食、駅西に遊ぶという3つのエリアで、道の駅すくもサニーサイドパークの魅力を最大限に引き出す。 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・宿毛産品の商品力向上・販路拡大支援事業（委託料）1,600千円 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 新商品・技術開発拠点整備 148,115千円 ・屋外用ジャンピング遊具関係施設 15,306千円					「すくもに触れる」 ～駅南に物産館を新設し、生産者と消費者をつなぐ～ 「すくもを味わう」 ～駅東に軽飲食を新設し、滞在時間延長と購買機会の創出～ 「すくもを遊ぶ」 ～駅西にジャンピング遊具を新設し、滞在時間延長と購買機会の創出～ 外観のデジタルサイネージや店内の観光案内図などで、道の駅すくもサニーサイドパークの魅力を最大限に引き出す。また、駅南に物産館、駅東に軽飲食、駅西に遊ぶという3つのエリアで、道の駅すくもサニーサイドパークの魅力を最大限に引き出す。 道の駅すくもサニーサイドパークの魅力を最大限に引き出す。また、駅南に物産館、駅東に軽飲食、駅西に遊ぶという3つのエリアで、道の駅すくもサニーサイドパークの魅力を最大限に引き出す。 	
主なKPI	①観光消費額（+5億6千6百万円） ②レジ通過者数（+37,058人） ③物販販売額（+41,738千円） ④軽食販売額（+18,375千円） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-18/46558.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：（仮称）四万十市新食肉センター整備事業

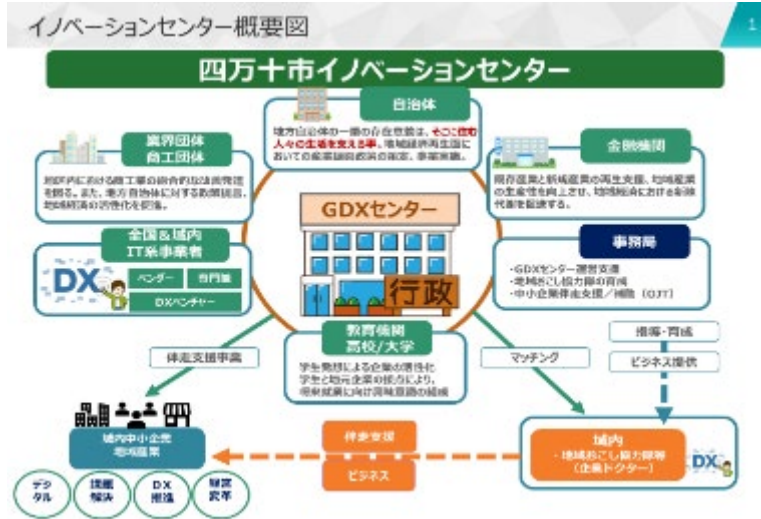
継続

申請者	高知県四万十市ほか 8 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	5,665,150千円 (881,864千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・四万十市営食肉センターは、県内唯一の「豚のと畜施設」であり、本県の畜産振興、幡多地域の雇用の創出など、広域的な役割を果たしている。新食肉センターの整備を行い、受入体制を強化し、高度な衛生管理のもと品質の向上につなげ、生産・加工・販売の好循環を形成し、さらなる畜産業の振興を図る。また、畜産振興だけでなく、幡多地域における雇用の場の維持・拡大につながる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 と畜処理能力の向上並びに販売競争力の強化に向け、と畜解体方法は中四国地方では初となる「湯剥方式」を採用し、製品の付加価値向上につながると畜解体サービスの提供を通じて、県内産豚のブランド向上を図り、販路の確保・拡大につなげることで、生産・加工・販売の好循環を形成し、さらなる畜産振興並びに雇用の創出を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事（新排水処理施設工事 他）834,337千円 ・設備整備・用地造成等（撤去・外構工事 他） 47,527千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①食肉センターにおけると畜頭数（+ 29,620頭） ②食肉センター関連事業者を含めた雇用者数（+ 10人） ③県内出荷頭数（+ 8,402頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimanto.lg.jp/site/plans/25769.html

※四万十市、高知県、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、四万十町、三原村、奈半利町の広域連携事業

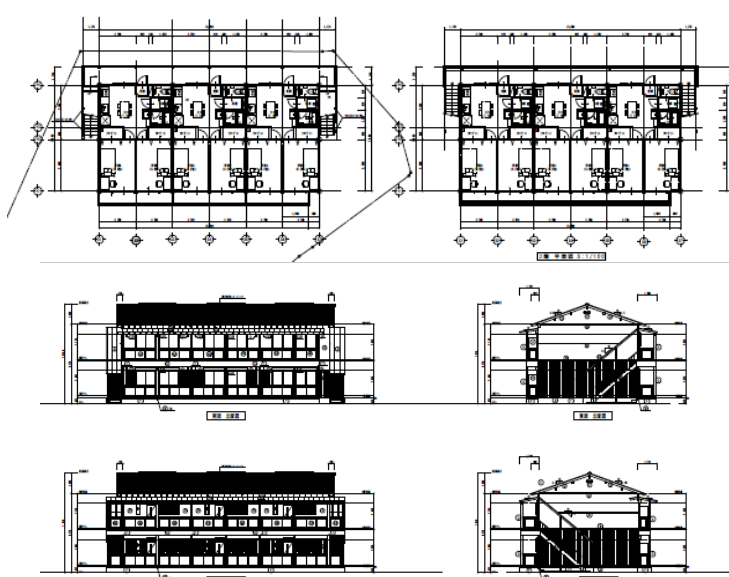
事業概要：四万十市産業イノベーションセンター設置事業

継続

申請者	高知県四万十市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	57,224千円 (17,253千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市内中心市街地商店街にしまんとSiXs（産業イノベーションセンター）を設置し、地元企業へD・GXや可視化経営のためのセミナー・情報提供・マッチング等を伴走型支援より実施し、経営の変革による産業の活性化を図る。 市内学校と連携し、地元企業と学生との交流機会や地域課題をともに考える場を創出することにより、人財育成と地元愛着心を向上させ、若い世代の雇用創出や定住を促す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 ・市場分析（産業、経済、人流） ・DX等先端ツール、ノウハウの体験機会の提供・案内 ・セミナー、イベント、人財育成研修等の開催 ・経営改善（DX含む）相談、サポーティング企業とのマッチング ・DX推進、経営改善に関する伴走支援 ・人財交流のためのカフェサロン開設（学生対象）						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○センター運営委託料 15,190千円 ○建物借り上げ料 1,500千円 ○Wi-Fi等使用料 93千円 ○光熱水費 270千円 ○消耗品等 200千円						
主なKPI	①経営指標改善（前年度比）達成した企業数（+90社） ②面談数（+200社） ③会員（無料）登録数（+375社） ④経営診断ツール登録もしくはDX/GX着手企業数（+180社） ⑤マッチング成立件数（+90回） ⑥各種イベント実施回数（+8回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shimanto.lg.jp/site/plans/25769.html

事業概要：津野川就労者向け若者移住促進住宅（第二）建設事業

新規

申請者	高知県四万十市					初回採択回	令和8年1月募集									
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	150,634千円 (150,634千円)									
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業											
目的・効果	【目的】人口減少が顕著な西土佐地域において、地域を担う多様な人材の確保と担い手不足解消に向けた取組みとして若者向け住宅を整備するもの。 【効果】当住宅を整備することで、若者世代の減少が顕著な西土佐地域における多様な人材の確保、人口の社会増につながるとともに、西土佐地域の事業者の担い手不足解消、地域経済縮小の克服につながる。															
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少が顕著な西土佐地域において、人口の社会増に向けた取組みとして若者向け住宅を整備するもの。若者向け住宅を整備することで、地域を担う多様な人材の確保につながり、担い手不足等による地域経済縮小の克服に寄与することで、中山間地域における持続可能なまちづくりにつなげていく。					平面図・立面図（案） 										
	<table><tr><td>【整備内容】</td><td>【R8年度事業 経費内訳】</td></tr><tr><td>・主要構造：木造</td><td>・建築物本体工事 101,852千円</td></tr><tr><td>・階数：2階建て</td><td>・電気設備工事 11,460千円</td></tr><tr><td>・延床面積：268㎡</td><td>・機械設備工事 22,686千円</td></tr><tr><td>・部屋数：12部屋</td><td>・敷地造成等に要する経費 8,050千円</td></tr><tr><td></td><td>・備品購入等に要する経費 6,586千円</td></tr></table>								【整備内容】	【R8年度事業 経費内訳】	・主要構造：木造	・建築物本体工事 101,852千円	・階数：2階建て	・電気設備工事 11,460千円	・延床面積：268㎡	・機械設備工事 22,686千円
【整備内容】	【R8年度事業 経費内訳】															
・主要構造：木造	・建築物本体工事 101,852千円															
・階数：2階建て	・電気設備工事 11,460千円															
・延床面積：268㎡	・機械設備工事 22,686千円															
・部屋数：12部屋	・敷地造成等に要する経費 8,050千円															
	・備品購入等に要する経費 6,586千円															
主なKPI	①市外からの西土佐地域への転入者数（+36人） ②西土佐地域の転出者数（+0人） ③入居者と地域住民等との交流会等の開催（+5回）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL									
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						https://www.city.shimanto.lg.jp/site/plans/25769.html										

事業概要： 定住人口の拡大に向けた「北川村暮らし」推進事業

継続

申請者	高知県北川村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	64,749千円 (19,729千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	定住に向けたハードルを解消し、定住率の向上を目指すため、地域に満足して生活し続けられるよう、就労支援、地域の魅力再発見、地域間交流等の事業を実施し、定住率の向上を目指す。 住む人が村に誇りをもって満足して暮らせるような「北川村暮らし」の推進を図り、より魅力ある地域となることで、村内の人材の流出を抑制し、持続的に村が存続できるよう、施策を推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少が進む中、移住してきた人を確実に定着させていくために、雇用創出への支援や定住に向けた支援を実施していくことで、定住人口の拡大につなげていく。北川村に住む人が地域に愛着と誇りを持ち、地域に貢献しようとする人材育成に努めるなど、より魅力ある地域となることで、村内の人材の流出を抑制し、持続的に村が存続できるよう、以下のような施策を推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○新規就労・就農支援事業（補助金） ・ゆずの新規就農者の経営支援（補助金）：9,500千円 ・起業スタートアップ支援（補助金）：2,000千円 ○コミュニティサポート事業 ・地域交流の場づくり・支援（報酬・需用費）：3,498千円 ・地域住民相談窓口の設置（報酬）2,690千円 ○地域の魅力再発見事業 ・地元小中学生による地域資源を活用した地域の魅力化事業（補助金）：1,512千円 ○移住へのきっかけづくり事業(委託費・需用費等)：1,529千円						
主なKPI	①移住者の定住率（+6%） ②移住者数（+0人） ③地域交流イベントへの参加者数（+25人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.kitagawamura.jp/life/dtl.php?hdnKey=2037

申請者	高知県北川村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	92,589千円 (30,013千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・村の基幹産業であるゆず農家の後継者・新たな担い手を確保し、ゆず農家として、早くから安定した収入を得て生活できる環境構築のため、ゆずの生産・品質及び販売力の強化を図る。 ・本村のゆずの特徴・魅力等を効果的に発信し、観光やふるさと納税といった事業と絡め、さらに多くの人の目に触れ、北川村として一体的にPRしていくことで、国内外に向けてゆずの販売促進を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 いままでの取り組み「ゆずを核とした産業振興プロジェクト」により見えてきた課題を克服し、ステップアップを図るため、以下の事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ゆずの生産性・品質等の向上事業 ・スマート農業導入経費（委託費・使用料）：7,364千円 ・ゆず栽培促進事業：2,340千円（補助金） ・園地改良事業：5,200千円（委託費） ○販売力の強化に関する事業 ・販路の拡大事業：5,900千円 ・ブランド力の強化：9,209千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①青果出荷量（JA出荷＋系統外出荷）（＋150トン） ②輸出量（果汁＋青果＋製品）（＋39トン） ③ゆず関連イベント参加者数（＋4,200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.kitagawamura.jp/life/dtl.php?hdnKey=2037

事業概要：棚田を中心とした地域活性化事業

継続

申請者	高知県本山町、高知県						初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R11年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	280,000千円 (46,500千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	✓			
目的・効果	美しい棚田を活用した新たなモデル事業を進め、地域全体を活性化させるための取り組みを進める。棚田の存続が地域の魅力を高め、持続可能な地域再生の実現を目指す。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農道や水路管理道を整備し、大型農業機械の導入と農産物輸送の効率化を図り、農業者や移住希望者の利便性向上を進めると同時に棚田へ観光客を誘導する。デジタル化で維持管理の省力化も実施する。地域の直売所と連携し、出荷量確保の体制を整え、県内外への流通拡大を図る。ブランド米「土佐天空の郷」の販売ルート強化を行い、農家の所得向上を目指す。また、これらの施策を通じて新たな雇用及び移住希望者を創出する。						 【棚田が生み出す魅力(価値)】 棚田＝地域の宝 ・文化資源(棚田＝アイデンティティ) ・農業資源(ブランド米「土佐天空の郷」など) ・観光資源(四季の美しい棚田風景)		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・直売所と連携した販路力強化・雇用創出 10,000千円 ○インフラ整備事業経費 ・農道大カゲ線の拡幅整備 事業費10,000千円 ・デジタル化で維持管理の省力化 事業費15,000千円 ・畦畔管理の省力化 事業費11,500千円								
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者の増加（窓口転入届数）（+15人） ②直売所「本山さくら市」販売額向上（+5,540千円） ③直売所「本山さくら市」レジ通過人数の維持（+1,536人） ④アウトドアビレッジもとやま施設利用者数（+720人） ⑤ブランド米「土佐天空の郷」販売額（+1,130千円）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.motoyama.kochi.jp/soshikikarasagasu/seisakukikakuka/seisaku_keikaku/395.html	

事業概要：“未来”に向けた産業と技術革新の基盤形成事業～テレワーク拠点を核とした関係人口の創出・拡大～

旧制度（推進）

申請者	高知県土佐町	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	138,167千円 (21,117千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	地域における起業や新事業の創出を拡大するため、地域内外が交わる土佐町テレワーク拠点を整備し、また多様な働き方が可能な環境を整備することで、本町に住む女性の増加・人口動態の改善につなげる。 また、第１次産業との連携や移住相談機能の強化を図り、町外からの転入を促進し相乗効果を高める。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な働き方が可能な環境するため土佐町テレワーク拠点を運営し、併せて第１次産業との連携を図るためインターンシップの実施や移住相談機能の強化を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・第１次産業インターンシップの実施（委託費）7,500千円 第１次産業との接点をつくり、ICT技術の導入などスマート化の促進等、サテライトオフィス等との相乗効果を生み出し、第１次産業の活性化につなげる。 ・移住相談機能の強化（委託費等）13,617千円 移住やＵターン希望者への対応、地域との関わりのコーディネート、空き家等のマッチング等、移住希望者や関係人口を対象にした相談支援を実施。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①サテライトオフィス等施設の利用者数（+18,760人） ②都市圏企業等と連携した新たな事業の創出件数（+19件） ③新たな雇用者数（+80人） ④若者世代（40代以下）の年間移住者数（+200人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.town.tosa.kochi.jp/life/detail.php?hdnKey=474

事業概要：「水と森は、ひとつに」環境と経済の持続可能な発展を両立する 広域中間支援組織を軸とした"地域循環共生圏"の実現

旧制度（推進）

申請者	高知県土佐町ほか4自治体	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	707,126千円 (130,502千円)
事業タイプ・類型	地方創生タイプ・先駆型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	高知県嶺北地域と香川県高松市は、相互に連携を進めることにより、地方創生として下記の将来像を目指す。 ・ 環境的な強みを持つ中山間地域と、経済的な強みをもつ都市地域が、相互に補完し合う“地域循環共生圏”の実現 ・ 森林の多面的価値の最大限発揮に向けた、持続可能な森林関連産業の構築 ・ 持続可能なかたちで環境的サービスが提供される仕組みが構築され、都市地域への水の安定供給やゼロカーボンが実現		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中間支援機能をもつ一般財団法人もりとみず基金を運営し、林業人材の育成に向けた研修の実施、森林関連産業の起業や新事業創出の支援、水源学習や水源地域と利水地域の交流事業に取り組む。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ 一般財団法人もりとみず基金による中間支援機能の発揮12,000千円 ・ 中間支援組織を通じた広域的な林業及び森林関連産業の振興65,334千円 ・ 中間支援組織を通じた環境保全・活用の実施5,127千円 ・ 環境的サステナビリティの達成に向けた市民の行動変容に繋がる取組の実施6,325千円 ・ 林業及び森林関連産業の振興に向けた基盤整備13,500千円 ・ 環境的サステナビリティの達成に向けた市民の行動変容に繋がる取組の実施28,216千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域の人口（林業及び森林関連産業の就業を通じた人口の社会増） （+100人） ②林業総収入（+11億1025万円） ③再造林率（+32%） ④一般財団法人もりとみず基金の寄附受領額（+43,000千円）		URL ※交付金の具体的 使途・実施体 制・効果検証の結 果及び改善方策 への反映が記載さ れているURL http://www.town.tosa.kochi.jp/life/ detail.php?hdnKey=474

※高知県土佐町、本山町、大豊町、大川村、香川県高松市の広域連携事業

申請者	高知県土佐町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	36,940千円 (19,180千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	土佐町では年間5件程度の起業・新事業創出など地域活性化の新たな動きが活発化している一方、各プロジェクトの情報発信や営業活動に十分なリソースを投入できない状況となっており、本事業では、「まちの編集室」を設置し、デザインやデータ活用等の専門人材による支援を行い、地域事業者等の情報発信を側面支援することで、地域活動の自走化と持続可能な地域づくりの実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域活動の自走化及び持続可能な地域づくりの支援として住民や事業者が利用できる電子掲示板を利活用する。 地域おこし協力隊による海外向け情報発信及び国内向けの情報発信を実施する。 地域の魅力を含めたPRを行い地域産品の魅力向上を図り、外商の拡大支援を実施する。					土佐町情報発信プロジェクト	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・情報発信促進事業（使用料・委託費等）5,100千円 ・地域資源の外商拡大事業（委託費）5,000千円 ・海外向け情報発信及びインバウンドツーリズム促進事業（旅費・委託費・補助金等）5,400千円 ・活動人口拡大事業（謝金・委託費）3,680千円						
主なKPI	①土佐町における新規雇用者数（起業者数を含む）（+30人） ②土佐町公式LINE登録者数（+750人） ③土佐町におけるインバウンド数（+470人） ④土佐町における新規事業の1年後継続率（+10%）					URL	http://www.town.tosa.kochi.jp/life/detail.php?hdkKey=474

事業概要：土佐町スポーツ・健康まちづくり事業

継続

申請者	高知県土佐町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	76,520千円 (28,690千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	中山間地域における「人口規模の縮小」と「住民ニーズの多様化」という構造的課題に対し、地域スポーツコミッションを核に、地域スポーツクラブ等のスポーツ環境構築とスポーツウェルネスの融合による相乗効果の創出、さめうら湖等の地域資源を活用したツーリズム展開による収益構造の確立、フィールド医学の知見を活用した科学的アプローチの導入により、持続可能なスポーツ健康まちづくりのモデルを構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スポーツ環境の向上のため、スポーツ指導者の確保やスポーツ合宿誘致を行い、スポーツ振興のためのイベント等の開催を実施する。併せてサステナブルツーリズムやエコツーリズム実施の支援を行う。 また、スポーツ振興と健康づくりの連携を図るため、スポーツウェルネス推進のため住民の健康づくり支援を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域スポーツ環境構築事業（委託費・負担金・補助金） 14,240千円 ・スポーツウェルネス推進事業（負担金等） 6,200千円 ・エコ・ツーリズム推進事業（委託費・補助金等） 8,250千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①日常生活機能合計点の維持及び向上（+5%） ②地域において指導者が確保できているスポーツクラブ数（+5団体） ③地域へのUIターン数（+7人） ④エコツーリズム事業の売上（+22,500千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.town.tosa.kochi.jp/life/detail.php?hdnKey=474

事業概要：自然・歴史・食を核とした観光振興による地域経済活性化事業

新規

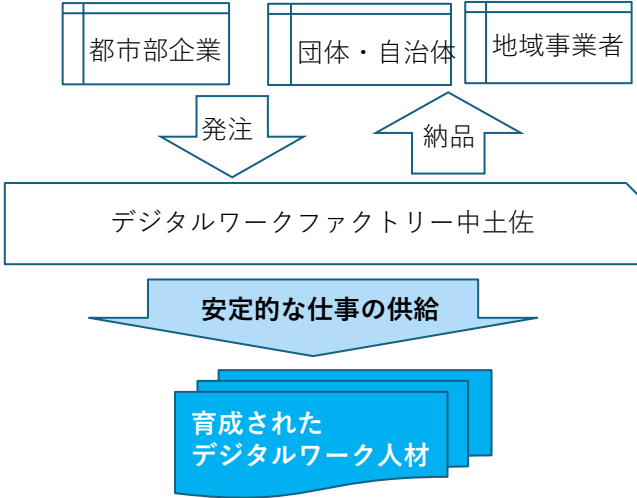
申請者	高知県大川村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	347,600千円 (157,600千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・観光来訪者の滞在時間・回遊・消費の質的向上を図ることで、地域経済の活性化を実現する。 ・既存観光資源を相互に連携させた観光ルートを整備する。 ・情報発信の強化や、デジタル化や商品ラインアップの拡充等による機能強化を図る。 ・生産・処理・加工・販売体制の整備を進め、観光と産業が連動した地域内経済循環の構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光誘客を起点として来訪者の滞在・回遊・消費を拡大し、地域内での経済循環を生み出すことを目的に、謝肉祭および既存観光資源を活用した誘客により交流人口を拡大するとともに、土佐はちきん地鶏を中心とした地域食資源の生産・加工・販売を観光需要と連動させることで、新しい人と経済の流れの創出と地域内消費の拡大を図り、地域経済の維持および拡大につなげる。これにより、観光と産業が相互に支え合う持続的な地域経済基盤の構築を、地域の地場産業を支える各事業所及び地域住民と一体となって目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 観光事業人材の確保・育成・配置に係る経費（委託費等）19,400千円、商品・サービスの開発に係る経費（委託費）2,000千円、開発した新商品・サービスの販路開拓・広報PRに係る経費（補助金）3,000千円、「食」の生産性向上に関する人材の確保・育成・配置に係る経費（補助金）44,300千円 ○施設整備事業 観光事業実施に係る備品購入経費21,900千円、観光者受入に係る施設（公衆トイレ）整備経費4,000千円、土佐はちきん地鶏の新商品製造及び販売促進に係る備品購入経費12,000千円、観光看板設置に係る経費500千円、飲食関連施設「里の茶屋 B B Qハウス」に係る整備経費12,000千円、土佐はちきん地鶏の生産性向上のための備品購入経費6,000千円、土佐はちきん地鶏生産関連施設（育成舎、食鳥処理場）に係る整備経費32,500千円						
主なKPI	①1人当たり地域観光消費額（+5,607円） ②土佐はちきん地鶏の販売額（+17,136千円） ③観光客入込数（+3,629人） ④関連事業所の雇用創出数（+15人） ⑤新たに開発した商品・サービス数（+30件） ⑥住民満足度（+80%）					URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・ 効果検証の結果及 び改善方策への反 映が記載されている URL	https://www.vill.okawa.kochi.jp/life/dtl.php?hdnKey=1710 令和8年6月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：「紙のまち・いの」にぎわい創出にかかる「いの町紙の博物館」観光拠点整備事業

新規

申請者	高知県の町					初回採択回	令和8年1月募集							
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	153,302千円 (153,302千円)							
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業									
目的・効果	・展示刷新と情報発信機能の強化により、土佐和紙の価値を再発信し、産地の魅力理解と地域全体への興味喚起を促す。 ・体験展示や観光動線を整備し、来館者の周遊行動と地域消費を拡大させ、産業・観光の好循環を生み出す。 ・快適性や保存環境を改善し、滞在価値を高めることで、購買意欲向上や若年層の関心醸成につなげ、産業継承を支える。 ・集客力を高め、土佐和紙の付加価値向上・販路拡大を図る。													
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、開館から40年が経過したいの町紙の博物館について、展示刷新や情報発信機能の強化を行い、現代の来館者ニーズに対応した施設へ再整備するものである。土佐和紙の魅力を深く伝える展示空間を構築し、体験プログラムや町内観光資源との連携を強化することで、来館者の周遊行動と地域消費を促進し、地場産業である和紙産業の振興と地域経済の活性化につなげることを目的とする。													
	【R8年度事業 経費内訳】 <table><tr><td>・建築物本体工事</td><td>58,674千円</td></tr><tr><td>・建築物と不可分な設備工事</td><td>85,596千円</td></tr><tr><td>・監理業務</td><td>3,311千円</td></tr><tr><td>・備品導入経費</td><td>1,200千円</td></tr><tr><td>・備品購入費</td><td>4,521千円</td></tr></table>							・建築物本体工事	58,674千円	・建築物と不可分な設備工事	85,596千円	・監理業務	3,311千円	・備品導入経費
・建築物本体工事	58,674千円													
・建築物と不可分な設備工事	85,596千円													
・監理業務	3,311千円													
・備品導入経費	1,200千円													
・備品購入費	4,521千円													
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内観光消費額（+1億6千万円） ②入館者数（+4,520人） ③紙漉き体験者数（+2,100人） ④販売コーナー売り上げ額（+7百万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.ino.kochi.jp/chosei/kohokocho/propo/14048/							

申請者	高知県中土佐町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,194千円 (10,607千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少化にあっても、子育て中の女性の就労が可能となる働き方の導入、女性が働きやすい環境づくり等を行うことで、多様なライフスタイルが実現でき、子育て女性が働きやすい・住みやすい中土佐町を構築する。 ・若者に、都市部でしかできないと認識されがちなデジタルワークが当町でも可能であり、多様な働き方のできる町として再認識されることで、若者の地域への定住やUターンの促進を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル人材の育成・確保を行うことにより、地域内に新たな働く場を創出し、女性や若者の定着を図る。 具体的には、知識とノウハウを有する民間事業者と町が協働し、デジタルワーク人材および人材育成インストラクターを養成する事業を実施する。併せて、地域事業者のDX化推進および地域内のデジタル業務掘り起こしのため、地域事業者に対してセミナーを開催しデジタル業務ニーズの発掘を図る。 また、多様なデジタルワーカーが集うことのできるスペースとしてコワーキングスペースの整備・運営を開始する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタルワーク人材育成講座（インストラクター養成講座）（委託料）4,202千円 ・コワーキングスペースの運営（委託料）905千円 ・コワーキングスペースの整備 5,500千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数〔デジタルワークファクトリーが業務を供給するデジタルワーク人材数〕（+10人） ②デジタルワーク人材育成講座受講者数（+11人） ③インストラクター養成講座受講終了者数（+5人） ④デジタルワークファクトリー開設数（+1件）					URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nakatosa.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=1981 https://www.town.nakatosa.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=1920

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：司牡丹酒造（株）焼酎蔵買取・整備事業

継続

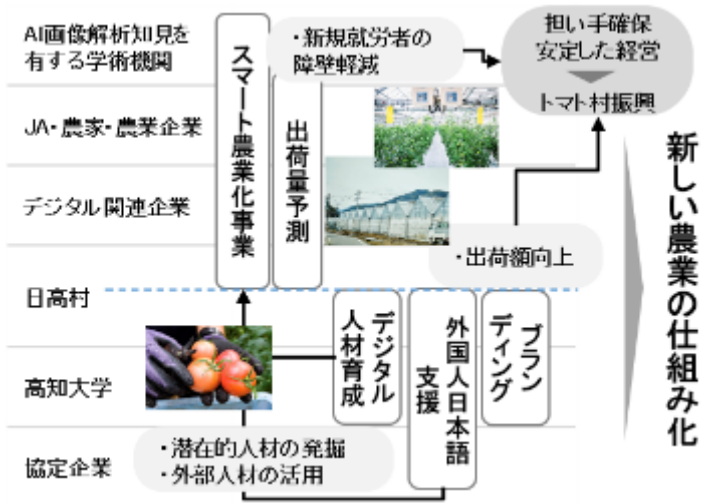
申請者	高知県佐川町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	312,953千円 (19,692千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・歴史的建造物の改修を行い、保存をするとともに歴史や文化に興味のある観光客を誘引する。 ・周辺施設からの観光客が周遊するよう機能を持たせることで、交流人口・観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史的建造物である司牡丹酒造（株）の焼酎蔵を買い取り、耐震補強工事、老朽化している白壁の修理、内外装の整備をし、3つの機能（佐川町に残る伝統的な酒造り文化を伝える展示機能・宿泊機能・飲食機能）を持たせた施設の整備を行い、これまで以上に人の往来を活発化させ、交流人口・観光消費額の増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・PR事業（委託料） 1,692千円 ○拠点整備事業 ・司牡丹酒造（株）焼酎蔵改修工事（工事費） 18,000千円 宿泊機能、飲食機能、酒造りの展示機能を持たせた施設とする。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①焼酎蔵における観光消費額（+60,772千円） ②焼酎蔵における宿泊者数（+2,810人） ③観光入込客数（+48,500人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.sakawa.lg.jp/life/dtl.php?hdnKey=1909

事業概要：住環境QOL向上による移住・定住まちづくり事業

継続

申請者	高知県佐川町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	13,338千円 (4,455千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・住宅相談窓口を設置し、移住者や地元住民向けに、国や県、町の補助金制度を一元的に案内し、住宅リフォームや空き家活用に関する総合的な支援を行う。 ・住民にとって住みよい住環境の整備と移住者にとっても求める質の高い住宅と豊かな自然を満喫できる環境を各地区で提供でき、住宅問題による移住の断念がないことを目指す将来像とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 住宅相談窓口（支援体制）を設置し、新築、改築の国・県・町補助金の一元的案内、申請支援や町内事業者の住宅省エネ支援事業者への登録支援、事業所等へ改修方法等のアドバイス、環境に対する教育機関への移動教室授業、住民向け啓発授業など、住宅に対する総合的な支援を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・住宅相談窓口（支援体制）の設置（委託料） 4,455千円 新築、改築の国・県・町補助金の一時的案内、申請支援 等						
主なKPI	①移住者数（+10人） ②窓口相談件数（+50件） ③新築件数（+7件） ④ZEH改修件数（+11件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.sakawa.lg.jp/life/dtl.php?hdnKey=1909

事業概要：デジタル活用型トマト村振興事業～新しい農業の仕組み化～旧制度（推進）

申請者	高知県日高村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	136,328千円 (45,380千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・日高村特産のシュガートマトの出荷量予測やブランディング戦略による安定した農業経営化 ・画像解析技術等の先進技術を活用したスマート農業化による新規就労者の増加 ・地域の担い手減少に対して、在留外国人の日本語支援による農業従事者等の外部人材確保 ・デジタル教育を通じた地域に眠る人材育成によるデジタル活用型の農業就労候補の拡大		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ICTやデータを活用、推進し、また、高知大学と連携し、トマトのブランディングのための共同研究、在留外国人の日本語支援により人材確保、地域住民のデジタル教育による人材育成を行うことで、安定した農業体制を構築する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スマート農業化実証事業（委託料） 15,476千円 ・学術機関と連携とした解析用データ収集（委託料） 2,200千円 ・出荷量予測環境開発事業（委託料） 12,068千円 ・高知大学協定プロジェクト等（委託料） 14,673千円 ・地域再生協議会運営事業（委託料） 963千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における農林水産就労者数（+15人） ②シュガートマト1kgあたり平均出荷額（+40円） ③出荷量予測精度の向上（+80%）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.vill.hidaka.kochi.jp/kurashi/child_category_free_page.cgi?SITE_ID=1&CATEGORY_ID=6&CATEGORY_ID2=2&CATEGORY_ID3=2&CATEGORY_ID4=2&FREE_PAGE_ID=170

事業概要：官民協働フィットネスで地域に元気を創造

継続

申請者	高知県津野町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	780,711千円 (650,476千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・健康増進施設をリニューアルし、多様な運動サービスの提供と積極的な情報発信を進めることにより、健康産業の拡大を図る。 ・若者から気軽に運動を楽しめる環境を構築し、健康長寿の地域づくりに貢献。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の公共施設をフィットネスに特化して整備し、運営面では民間のノウハウを取り入れることで「老若男女が楽しく運動を継続できる場所」として、本町及び近隣市町村からの利用者の拡大、それに伴う売上の増加を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○健康増進施設リニューアル整備 ・工事請負費 568,841千円 ・工事監理委託業務 5,665千円 ・工事監理技術支援委託業務 888千円 ・外構工事 25,401千円 ・備品購入業務 トレーニングマシン等 49,681千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①健康増進施設売上額 (+1,304万円) ②健康増進施設町内利用者 (+18,733人) ③健康増進施設町外利用者 (+12,651人) ④健康増進施設女性利用率 (+10%) ⑤運動習慣のある20歳～74歳 (+2%) ⑥若者を対象としたイベントの回数 (+3回)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://town.kochi-tsuno.lg.jp/section/post_3966 ※令和8年9月公表予定

事業概要：津野町児童公園整備事業

継続

申請者	高知県津野町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,000千円 (50,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	利用者のニーズに合わせた遊具等を整備することで、地域住民の健康促進やコミュニティの場所としても提供し、観光施設との相乗効果によって、地元の商店街の利用促進に寄与し、まちの賑わいの創出を推進する拠点施設とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多世代、多様な人が利用できるように、高齢者が利用できる健康器具、多様な人が利用できるインクルーシブ遊具等、地域住民のニーズにあった既存の公園の改修を行うことで、まちの賑わいにつなげ、観光客、移住者も呼び込み地域活性を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 児童公園（津野町西運動公園児童公園）の公園整備実施 ・建築工事 50,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+5人） ②東津野B＆G海洋センターの年間利用者数（+330人） ③町内の小学生の外遊びの頻度（+10%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://town.kochi-tsuno.lg.jp/section/post_3966 ※令和8年9月公表予定

事業概要：（仮称）四万十町観光交流拠点施設整備事業

継続

申請者	高知県四万十町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	417,001千円 (7,449千円)
事業分野	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業		
目的・効果	- 地域イベントやフリーマーケットを開催できる空間、子育て世代が小さな子供を安心して遊ばせられる遊具のある場所、若者達が気軽にスケートボード等のスポーツを楽しめる広場、遊歩道や休憩スペースなど、どの世代でも気軽に利用できる交流拠点施設を整備することで、町内外からの人の流れを生み出す場となり、地域の活性化、地域経済の向上が期待できる。 - 有事の際には隣接する防災道の駅とあわせて帰宅困難者等の避難場所となるほか、発災時のタスクフォースの居留地などとしても活用可能なスペースを提供できる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 四万十町の玄関口である四万十町中央ICの付近である当該地に、高齢者、子育て世帯、若者など全世代が交流できる町内外の「人が集まる場所」を提供し、交流人口の増加、地域経済の活性化を図る。また、災害時には避難場所としての活用も想定している。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○開発許可申請業務委託水路 ・5,969千円 ○水路・里道の表示登記業務委託 ・1,480千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内観光施設年間入込数 (+10万8,550人) ②町内イベント参加者数 (+1万5,650人) ③町内移住者数 (+1,000人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shimanto.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=11749

事業概要：四万十町ネット販売利活用特産品情報発信事業

新規

申請者	高知県四万十町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	38,700千円 (12,850千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・豊かな農水産物、四万十川のブランド、地元事業者の動きを背景に I T を活用した情報発信により販路拡大につなげ地場産業の所得向上を目指す。 ・地域全体で E C サイトへの取組を推進し、地方であっても安定的な販路の獲得に繋げる。 ・海外向け情報発信により海外向け E C サイトの展開を支援し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 “最後の清流 四万十川”というブランドを生かした町の豊かな特産品の情報発信を効率的に実施し、インターネット販売につなげることで町経済の発展につなげる。 また、新たな参画事業者の掘り起こし、効率的な協業体制のもと事業者の販売額の底上げを図るとともに地域おこし協力隊などの新たな就業先の創設・育成につなげる。 それらにより、事業者の収益基盤の安定化に加え、四万十川ブランドの価値及び認知度の向上による消費者のファン化にもつなげていく。 最終的には、越境（海外） E C への参画を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・インターネットを活用した町産品の情報発信（委託料）10,000千円 ・既存 E C サイト活用事業者のレベルアップに向けた個別指導（委託料） 2,850千円						
主なKPI	①地域における農業産出額（出荷額）（+ 90百万円） ②地域における製造品出荷額（+ 90百万円） ③一般社団法人の町産品販売額（ECを通じた販売額）（+ 1.5億円） ④一般社団法人の雇用者数（+ 2人） ⑤一般社団法人参画事業者数（+ 72社（者））					URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果 検証の結果及び改善 方策への反映が記載 されているURL	https://www.town.shimanto.lg.jp/life/ detail.php?hdnKey=11749

事業概要：道の駅「四万十大正」再整備事業

新規

申請者	高知県四万十町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	49,291千円 (49,291千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の食材を活かした新商品や限定メニュー、山と川が間近に迫るロケーションを軸に、イベントや外販などで町外への魅力発信を行い、地域への関心度を向上させ地域内の観光消費の拡大を目指す。 ・観光客や休憩客に手軽に軽食を提供できるテイクアウト窓口の設置により、新たな客層の獲得や道の駅での消費拡大に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 道の駅「四万十大正」は大正地域の国道381号線に面し、当国道は四万十川と並行した景観の良さと高知市と愛媛方面を結ぶ道路であることから、ドライバーやサイクリスト等の休憩地点・奥四万十地域の観光拠点となり年間約32,000人ほどが施設を利用している。 道の駅の飲食・商品の地域性やオリジナル性、サービスの向上を図ることで、従来までは「通過点」であった道の駅が「目的地」のひとつとなり観光拠点としてより機能を発揮させることによって、近隣の観光施設等に人の流れが促進され消費拡大に繋がる取組みを行っていくため施設の再整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建物本体工事 28,028千円 (厨房設備・機器、カウンター周りのレイアウト変更、テイクアウト窓口、看板、屋外客席) ・電気設備工事 3,421千円 ・機械設備工事 6,798千円 ・駐車場整備工事 10,087千円 ・工事監理 957千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光への波及効果の拡大（観光消費額）（+25百万円） ②道の駅四万十大正年間利用者数（+7,532人） ③道の駅四万十大正年間販売額（+6,200千円） ④道の駅四万十大正新商品開発（+20品）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.shimanto.lg.jp/life/detail.php?hdnKey=11749